

情報メディア基盤ユニット

6月11日講義分クイズ

情報メディア学科 佐藤尚

解答はキャリアポートフォリオへ

1. 下の未完成プログラムは、ウィンドウ内にランダムに長方形を表示し、その長方形をクリックすると、別場所に長方形を移動するようなプログラムです。なお、移動する際には、長方形の色や大きさもランダムに変化します。以下の問いに教えてください。

- (1) 次の5つの変数の役割として最も適するものを解答群から選び、記号で教えてください。

xRect		yRect		cRect	
wRect		hRect			

解答群

a	長方形の中心のX座標値	b	長方形の左上頂点のX座標値	c	長方形の色
d	長方形の中心のY座標値	e	長方形の左上頂点のY座標値	f	長方形の枠線の色
g	長方形の横幅の半分	h	長方形の高さの半分	i	長方形の塗りつぶし色
j	長方形の横幅	k	長方形の高さ		

- (2) プログラム中の関数 `between` は、戻り値が `boolean` 型で、引数 `x,a,b` は `float` 型である。この関数は `x` の値が `a` 以上 `b` 以下であれば、`true` を返し、そうでなければ、`false` を返す。プログラム中の空欄を埋めて、プログラムを完成させてください。

```
          未完成プログラム
float xRect,yRect;
float wRect,hRect;
color cRect;
void setupRect(){
  wRect = random(20,60);
  hRect = random(20,60);
  xRect = random(width-wRect);
  yRect = random(height-hRect);
  cRect = color(random(360),99,99);
}
void drawRect(){
```

```

stroke(cRect);
fill(cRect);
rect(xRect,yRect,wRect,hRect);
}

void setup(){
  size(400,400);
  colorMode(HSB,359,99,99);
  setupRect();
}

void draw(){
  background(0,0,99);
  drawRect();
}

a_between(i_x, ii_a, iii_b){
  if(x_iv && x_v){
    return true;
  }else{
    return false;
  }
}

boolean inRect(float x,float y,
               float rx,float ry,float w,float h){
  if(b(x,rx,rx+w) && c(y,d,e)){
    return true;
  }else{
    return false;
  }
}

void mouseClicked(){
  if(inRect(mouseX,mouseY,xRect,yRect,wRect,hRect)){
    setupRect();
  }
}

```

コメントの追加 [[1]: この括弧が不足していました。

(3) 関数 between は次のように定義することも出来る。空欄を埋めて下さい。

```

a_between(i_x, ii_a, iii_b){
  return (x_iv && x_v);
}

```

2. 次の2つの本文中のサンプルプログラムを実行して見て下さい。入力したソースコードをキャリアポートフォリオ上に提出して下さい。

8-2 (126 ページ) ,8-6 (130 ページ)